

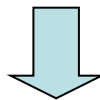


2011年度 藤沢市青少年セーリングクラブ 活動報告



1. クラブ員募集

2011年度は、FYAホームページ及び藤沢市広報紙「広報ふじさわ」によりクラブ員の募集



小学生3名入会、中学生1名 (前年に6名卒業)

現在のクラブ員数 (2012.3.29現在)

中学生 : 6名、小学生 : 4名 合 計 : 10名

2002年9月 藤沢市青少年セーリングクラブ発足 クラブ員1名
2003年4月 藤沢市教育委員会より正式承認
2003年4月 クラブ員 7名
2011年4月 クラブ員 10名 (3名加入)
2011年8月 クラブ員 10名 (1名退会、1名加入)

2011年度は、クチコミ、ホームページ・「広報ふじさわ」により勧誘活動を実施し4名の入会となった。

昨年、6名の会員が中学校卒業したことにより会員数は減少したものの、4名の加入より全体では微減。また、ヨット体験教室等を実施していくことで、随時会員募集を行った。(2012年6月に入会有)
しかしながら、近年は、少子化の影響により地域の青少年のスポーツクラブも人材募集に苦慮している現状がある。



2011年度 開校式 (2011.4.10)



山下コーチから講話 (2011.4.10)



新規クラブ員練習模様 (2011.5.5)

2 練習

(1) 通常練習

練習延べ日数

土曜午後と日曜日を公式練習日として練習 → 土曜日 42日 日曜祝日 46日

①練習体制

初級クラス、中上級クラスに分け、専属コーチ、父兄コーチがそれぞれのレベルに応じた、セーリングスキルをレクチャー

②練習メニュー

土曜日は、上級者を中心にセーリングテクニックの練習を実施。基本練習から高度なセーリング技術の向上に努めた。

日曜日は、主にマークを打ちコース練習を実施。初級者は基本動作を中心に、目的地により速く、安全に帆走する技術を習得。

中上級者は実践的な練習の中で、スタート練習、マーク回航、コース取り等、レースに勝つためのタクティクスの習得に努めた。



2 練習

(2) 神奈川県セーリング連盟主催 ジュニアセーラー合同集中練習

神奈川県セーリング連盟主催、ジュニアセーラー合同練習に参加し、通常のメンバーと違う相手と練習することによって各自のレベルアップに努めた。FSSCのコーチ、父兄が運営を担当し、実践的な練習をすることができ、また県下各クラブとの交流を深めることができた。
(延べ11日実施)



(3) 自主練習

2011年度は安全を考慮する中で長期休暇を利用して、東日本選手権、全日本選手権及びナショナルチーム最終選考会に向け、コーチ、父兄立ち会いのもと平日に自主練習を実施。さらなるセーリング技術の向上に努めた。(延べ8日)



※年始練習は、湘南港に事前に申請を行い安全に配慮し実施した。

2 練習

(4)練習参加

練習参加データ: 各会員個人別の練習参加日数は以下のとおり

FSSC 2011年度 練習参加ランキング

NO	参加者	練習月												総計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	須河内翔	6	8	5	6	8	7	7	8	7	6	5	6	79
2	仲美南	7	9	5	2	9	5	7	8	5	7	5	5	74
3	須河内茉里	6	8	5	6	8	4	8	9	6	6	1	5	72
4	榊原健人	10	8	1	1	6	4	7	7	6	10	2	5	67
5	須河内陽夏	2	5	2	4	8	6	7	7	6	6	5	5	63
6	伊藤聖夏	4	6	2	5	8	6	4	6	5	4	3	3	56
7	大森響	5	5	2	2	2	4	0	3	3	5	1	1	33
8	大森藍	3	5	2	0	2	4	1	4	1	2	1	1	26
9	河田真征	3	3	2	1	3	1	0	2	3	3	0	1	22
10	山口理欧	-	-	-	-	-	2	2	3	2	3	0	3	15
	総計	46	57	26	27	54	43	43	57	44	52	23	35	507

3 レース参加概要

(1) 5月15日 「メイレガッタ」(江の島)に参加

去る2011年5月15日に開催された江の島ヨットクラブジュニア主催の「メイレガッタ」において、当クラブの榊原健人くんが総合3位に入賞しました。また、伊藤聖夏さんも小学生4位に入賞しました。その他、須河内茉里さんが総合16位、須河内翔くんが30位、大森響くんが、32位でした。当日は江の島ヨットハーバーも、赤い吹流しが掲揚される 9m程度の風が吹きましたが、みんな最後まであきらめずにがんばりました。(FSSCニュースより抜粋)



3 レース参加概要

(2) 榊原健人くん 日本代表で6月末から北米選手権に参加！！

クラブのキャプテンでもある 榊原健人くんが日本のジュニア代表として、IODA北米選手権大会(IODA North American Championship 2011)に派遣されました。

2011の北米選手権は、ロサンジェルスのカブリロビーチヨットクラブ(CBYC)で6月29日～7月7日まで開催。

北米選手権の日本代表チームの応援ホームページも立ち上がっています。

<http://sites.google.com/site/optinam2011teamjapan/>
みんなで応援しました！！(FSSCニュースより抜粋)



日本代表チームのキャップを被る榊原健人くん



北米選手権 日本代表チームの選手たち
(和歌山セーリングセンターのナショナルチーム合宿にて)

3 レース参加概要

(3) 榊原健人くん 北米選手権で悔しい総合92位

クラブのキャプテンでもある 榊原健人くんが6月28日～7月10日までIODA北米選手権大会(IODA North American Championship 2011・ロサンジェルスのカブリロビーチヨットクラブ)に参加しました。

みんなの応援を受けましたが、強烈な潮と振れない強烈な風にあい思うように実力を出すことができず、総合で92位(全187艇)と悔しい成績となりました・・・初の海外遠征で力を出し切れなかった悔しさをバネに今後の活躍を期待しましょう。

詳細は、北米選手権応援ページをご覧ください。<http://sites.google.com/site/optinam2011teamjapan/>
みんなで応援しました！！(FSSCニュースより抜粋)



3 レース参加概要

(4) リビエラカップ 2011年度第29回東日本OP級ヨット選手権大会 榊原健人くん 痛恨の6位！ 他FSSC選手、力だせず！

東日本エリアのOP級チャンピオンを決定する「OP東日本選手権」が今年も7/22-7/24に葉山新港で開催された。最終日までトップと3点差で優勝を狙った榊原健人くんですが、最終レースで痛恨の10位をとい惜しくも6位入賞となった。また、上位を狙った須河内茉里さん、伊藤聖夏さん、仲美南さんともに力及ばず、実力を出し切れない大会となった。

今後のますますの精進に期待したい。(FSSCニュースより抜粋)



3 レース参加概要

(5) 第9回 全国中学校ヨット選手権大会

榊原健人くん 男子OP級優勝！

仲 美南さん 女子OP級3位入賞！

部活ヨットの日本一を決める「第9回 全国中学校ヨット選手権大会」が稲毛ヨットハーバーで、7月29日～31日まで開催されました。全国の中学校から集まったこの大会で、FSSC所属 片瀬中学校の榊原健人くんがOP男子日本一となりました。また、FSSC所属 関東学院中学から出場した仲美南さんが、OP女子で見事3位入賞を果たしました。(FSSCニュースより抜粋)



3 レース参加概要

(6) 第43 回日本オブティミストセーリング選手権大会**榊原健人 惜しくも準優勝！****須河内茉里 女子3位入賞！！**

今年度のジュニアヨットの日本チャンピオンを決定する『2011 年第43 回日本オブティミストセーリング選手権大会 兼 2012 年度JODAナショナルチーム第一次選考会』が、8月20日～8月23日の期間で佐賀県の唐津市にある佐賀県ヨットハーバーで全国のジュニアセイラー140名により開催されました。

この大会には、FSSCはナショナルチームの榊原健人をはじめ、須河内茉里、仲美南、伊藤聖夏のFSSCとしては初の女子主体での遠征に臨んだ。

暑い夏の大会が想定され、暑さ対策を持って臨んだFSSCのメンバーですが前線が停滞したせいか終日雨か曇りの天候。

レース1日目まで、軽風のレース。この時点で潮を読んだ榊原健人7位。唐津の海に慣れている須河内茉里11位。初出場の仲美南は59位。伊藤聖夏は65位と苦戦。翌日のレースに期待をつなぐ。

大会2日目は、前日の2ディビジョン目のレースがノーレースとなったため、途中から開始。仲美南、伊藤聖夏ともに軽風のレースに苦戦。

3 レース参加概要

その後、風は次第にあがり、大会2日目は4. 5レースを消化。2日目を終了し、榊原健人は、暫定順位で1位と6点差の2位。翌日以降での逆転優勝を十分に狙える位置となった。また、須河内茉里も総合で15位。女子で3位と好位置につけ、入賞を狙う。仲美南は、スタートや1上までは10番代で回航するものの、マーク回航のたびに順位を落とし、初めての全日本では苦戦。伊藤聖夏は、総合で65位となり、後半でひと頑張りして50番以内のナショナルチーム選考会を目指す。続く、大会3日目。朝からのあいにくの雨であったが、出艇時には雨もやみレース海面では風が北に振れるのをまって風速5～6mでスタート。

7Aグループが3マークを回航するころ西方がにわかに掻き曇り雷雲らしきものが、音とともに近づく。7Aグループの伊藤聖夏はそんな状況のなかで見事7位フィニッシュ。総合順位を多いにあげたと思われたが、海面でも雷が視認できるようになり、7Aのレースはノーレース。突然の豪雨で視界の悪い中、選手は曳航で全員ハーバーバックとなり、結局、この日はレースは実施されなかった。

続く最終日。榊原健人は逆転優勝を狙うが天候は昨日と同様、遠くで雷音が鳴り響く天候。レース委員会は安全を考慮し出艇を控え、12時をもってAP+Aが掲揚。ここで全日本選手権が終了した。FSSCとしてはクラブ創設以来の2位入賞と女子入賞と素晴らしい成績をもって大会を終えた。

最後に、唐津での佐賀県ヨット連盟様のすばらしい運営と玄海セーリングクラブのホスピタリティの高さにクラブ一同敬服し、唐津の地を後にした。(FSSCニュースより抜粋)

3 レース参加概要



3 レース参加概要



山下ヘッドコーチと全日本選手権に参加した4選手

3 レース参加概要

(7) 第27回全日本OP級チームレース選手権大会 須河内茉里さんの「Tuningチーム」3位入賞！

2011年9月17日～19日、広島県観音マリーナにて、「第27回全日本OP級チームレース選手権大会」が開催された。FSSCからは、別府ジュニアとの混成チームで須河内茉理さんが出場した。

初日、風がなくレースが実施される思いっきり懇親会を楽しんだ選手たちであったが、2日目も長い風待ち。3日目にようやく風に恵まれた大会となった。このようななかで、別府ジュニアとFSSC混成チームの「Tuning」が見事3位に入賞した。



表彰される「Tuning」チーム
(撮影:柳内氏)



戦う須河内選手
(広島ジュニアブログより)



レース前？ 気合十分の顔！！

3 レース参加概要

(8) 第21回国際親善レガッタ(ミキハウスカップ)で 須河内陽夏さん Bクラスで準優勝！！ 榊原健人くん 惜しくも連覇ならず3位

2011年9月18日(日)に、東京都若洲で「ミキハウスカップ」が開催された。若洲の海初体験でBクラスに出場した須河内陽夏さんが、堂々の準優勝！昨年優勝で連覇をねらった榊原健人くんは惜しくも3位となった。例年風がないミキハウスカップだったが、今年は7mの安定した風が吹いた。この風の中でFSSC勢は、1レース目は全員15位以内と好成績を予感させたが、その後思うように力をだせず、Aクラスは他に伊藤聖夏11位、仲美南12位、須河内翔24位となった。(全51艇)。一方、Bクラスでは今年からFSSCでヨットを始めた須河内陽夏さんが、見事敗者復活で勝ち残りBクラスで準優勝となった。



Aクラスの緊迫したスタート



総合3位の榊原健人くん



Bクラス準優勝の須河内陽夏さん

3 レース参加概要

(9) 第11回夢の島レガッタでFSSC大活躍！**須河内翔くん、準優勝！さん 仲美南さん 3位！****伊藤聖夏さん 4位 須河内陽夏さん Bクラス準優勝！！**

2012年2月19日(日)に、東京都若洲で「第11回夢の島レガッタ」が開催され、参加したFSSC全選手が入賞という快挙を成し遂げた。OPAクラス、美南、聖夏、翔 OPBクラス、陽夏の4名で夢の島レガッタに参戦。放射能のホットスポットが出たと噂される東京湾、若洲沖、海上からは毎度おなじみディズニーランド子供たちはたぶん気づいてないと思われる開通したばかりのゲートブリッジ、そしてスカイツリーと東京の観光スポットに囲まれ晴天の中OPAクラスは4レース、Bクラスは3レースおこなわれました。

1レース、まだ肌寒い北風2m程度の軽風でスタート、1マーク翔が3位で回航し今日はなんだか、みんないけそうなきがするっ~と思うが、聖夏、美南が毎度の真ん中ぐらいでいつも通りの成績なので仲父はたぶん2マークボートで眉間にしわを寄せていたと思われます。2上、翔が得意の右狙いでダントツにないそのまま逃げ切りトップフィニッシュ！

2レース、気温の上昇とともに北風が残るもフローの強弱がではじめます。横浜市民、神木弟が1位で1マーク通過、その後ろに聖夏が後続を離して2位で回航、その後、徐々に風が落ち始め2上に向かう頃にはスターボルのぼいになり益々風が弱々しくない神木弟がダントツ、聖夏2位変わらず、そのままレースは続行され2艇はフィニッシュ。さらに風が落ちてこのままなら残りはすべてDNFになるかという状況。聖夏は心の中で「神様、みんなが

3 レース参加概要

タイムリミットになりますように」という邪悪な祈りは通じず、そよそよブローの塊、神風が吹いて美南、翔もなんとか滑り込み8艇までフィニッシュ。

3レース目、風待ち後に南東に回りシーフリースが安定して入りました。14時15分以降の予告信号がないので、このレースが本日最終という思いでレースが始まりました。このレースも一皮むけた神木弟がトップ回航、聖夏、美南はシングル後半、翔は中盤のあたいで回航していきました。2上では左海面のコース取りがうまくいった美南が2位にジャンプアップ、聖夏4位といつもならスルスル遅れていく2人がが別人のようなレース展開をしています。そのままの順位でフィニッシュして、さてハーバーバックと思っていたところに、本部船で須河内父がOP旗を斜めに持ちながら、もう1レースやるぞオーラを選手に発揮し仁王立ち。2レース目に大量のDNFを出したので、もう1レースやればカットレースが作れます。

4レース目、運営の気合いが入り、14時13分に予告信号。最後も、神木弟がトップ回航、美南、聖夏、翔の3人はシングル中盤～後半で1マークを回っていき、次の上りでまた美南がシフトをうまくとらえ3位に聖夏5位、翔6位で下マークに向かいます。マーク近辺で翔が内側でルームを取り5位、6位が入れ替わりフィニッシュ。手際のよい運営で4レース無事終了。

ハーバーに帰ってきて点数計算、なんとカットレース入れると美南、聖夏、翔3人12点、タイを解いて翔、美南、聖夏の順番になりました。26艇の小規模なレースでしたが、選考会参加予定の強豪選手も含めたなかで3人は上位に入り、翔は全日本の権利を獲得しました。陽夏もBクラス2位と参加選手全員が賞状を貰え次のレースが楽しみです。(FSSC

ニュースより抜粋)

3 レース参加概要



3 レース参加概要

(10) 15th ASIAN SAILING CHAMPIONSHIP(マレーシア、ランカウイ)に日本代表で健人、茉里参戦！！
健人 OP男子15位、茉里 OP女子12位！

2012年2月17日～25日、マレーシアのランカウイ島にて、「15th ASIAN SAILING CHAMPIONSHIP」が開催された。FSSCからは、全日本2位の榎原健人さんと、全日本女子3位の須河内茉里さんが出場した。
本レースは、アジア大会とオリンピックの間に開催される国際レースであり、アジア地区では、五輪>アジア大会に次ぐグレードのビックレースである。OPのみのレースではないため、今回は420ユースのチームと共に、山下コーチ帯同の元でB&G兵庫の田中美紗樹さん、葉山の鈴木爽斗さんとの遠征となった。
軽風域での潮が強い海面であり、冬の日本から一転した常夏の天候に戸惑ったのか、成績はなかなか振るわない両選手でした。しかし、アジアの強豪・小柄選手のなかで精一杯頑張りました。アジアのOPセイラーは、世界でもトップクラスであり、その走りを実際にレースで競うことで経験した二人は次につながる“何か”をつかんできたはずです。今後の飛躍に期待しましょう！（FSSCニュースより抜粋）

3 レース参加概要



3 レース参加概要

(11) 2012 JODAナショナルチーム最終選考会**榊原健人 IODAアジア選手権(スリランカ)代表決定****須河内茉里 IODAアジア選手権(スリランカ)代表決定**

2012年3月17日～19日に、和歌山県の和歌山セーリングセンターにて、「第51回IODA世界選手権 第23回IODAアジア選手権 第30回IODAヨーロッパ選手権 2012年 JODAナショナルチーム最終選考会」が開催され、FSSCからは先の全日本にて選考された榊原健人と須河内茉里の2名が、ジュニア日本代表に向けて参加した。

レース当日までは、和歌山特有の強風レースが想定されていた。そのレース初日、期待にたがわず18ノットの強風。この中で、榊原健人は、別府の高山大智、兵庫の田中美紗樹と競い合うなかで見事2位を獲得。FSSC初のワールドセイラー奪取にむけて幸先のよいスタートをきった。一方、須河内茉里は普段の冷静さを欠く中で28位と低迷。続く第2レースも風は若干落ちたものの13ノットのまづまづの風。ここでも榊原健人は6位でフィニッシュするも痛恨の0CS。須河内茉里は、緊張感がめけず30位フィニッシュと苦しいスタートとなった。続く2日目以降から、波乱が起こる。強風対策を行ったきた両名であったが、和歌山の風は意に反して軽風から微風の展開。FSSCの両選手は、なかなか風を読み切れず苦しい展開となった。迎えた最終日、ワールドまでにはシングル連発が必須の榊原健人であったが、痛恨の31位。初日の0CSも響き大きく順位を後退させ、NT入りさえも厳しい予想しない展開となった。一方、須河内茉里も、振れる風に翻弄されつつも7レース目でシングル奪取

3 レース参加概要

(10) 2012 JODAナショナルチーム最終選考会

翌日以降に期待をつなぎ、最終レースで何とかまとめ選考を兼ねた表彰式を迎えた。結果としては、榊原健人はワールドが期待されたが、何とかアジア選手権チームとして日本代表入り。須河内茉里は、女子枠に残り同じアジア選手権チーム入りして日本代表となった。(FSSCニュースより抜粋)



選手も父兄も緊張の開会式



微軽風の北風に悩まされた健人と茉里



ナショナルチームに内定した榊原健人と須河内茉里

4 表彰

(1) 平成23年度 藤沢スポーツ賞(優秀選手賞)受賞

FSSC所属の榊原健人(藤沢市立片瀬中学校)が、藤沢市体育協会から表彰される「平成23年度 藤沢スポーツ賞(優秀選手賞)受賞」を受賞した。贈賞式については、平成24年3月4日に開催された「平成23年度 第27回『スポーツ人の集い』」にて行われた。

本表彰は、OP全日本選手権の準優勝及び全国中学校ヨット選手権大会での男子OP級優勝について、藤沢市体育協会において優秀選手と判断されたものです。

なお、榊原健人は2年前のJOCジュニアオリンピック優勝の際にも受賞しており、これで2度目の表彰となりました。



5 クラブ内交流

(1) クラブ忘年会 ～ 2010年度FSSCクリスマス会

日時:2010年12月4日(日) 17:00～

場所:ルクラシック

内容:例のFSSCクリスマス会が開催された。山下コーチからの1年の総括の後、小阪藤沢市ヨット協会理事長の発声により乾杯。楽しく飲んで食べて語らいました。後半は、各選手からのピアノ披露、山下コーチのプロの歌声。ビンゴ大会の後、来年への抱負を各選手語り、藤井神奈川県連ジュニア部会長の挨拶によりメとしました。



5 クラブ内交流

(2) 全日本祝勝会 & 理欧くん歓迎会の昼食会を開催！

2011年9月11日(日)に、OP全日本選手権で準優勝した榊原健人くん、同じく女子3位となった須河内茉里さんの祝勝会と、新人の山口理欧くんの歓迎を兼ねて、女性センターのマリンコーナーで昼食会を開催した。全日本で活躍した2名は今後の活躍を抱負として語り、新人の理欧くんは、「ヨットが好き」と実に頼もしい言葉を語ってくれた。(FSSCニュースより抜粋)



ジュースで皆で乾杯！！



理欧くんがコメント「ヨット大好き！！」

6 普及活動

(1) オプティミスト級ヨット 体験教室を開催！ 市内小中学生 15名が参加



市内の小中学生を対象に、藤沢市ヨット協会からの申し出によりFSSC(藤沢市青少年セーリングクラブ)でヨット体験教室を2011年8月13日(土)開催しました。初めてヨットに乗った子供たちは最初はビクビクしていましたが、FSSCの子供コーチの指示に従い予定を15分超えて初夏の江の島でヨットを体験しました。普段コーチされるFSSCの選手たちも、教える側にまわって勉強になったかな？(FSSCニュースより抜粋)



須河内コーチから陸上で指導



OPに二人乗りで体験。子供だからできます。



新人 藍ちゃんも今日はコーチ

7 今後のクラブの課題

今後のクラブの課題

(1) 活動場所の確保

- ①陸上での指導場所 女性センターを利用できるようになったが、継続して利用できるように活動実績をアピール
- ②船具ロッカーに入らない備品置場
- ③ヨットハウス建替えに伴う活動場所の確保

(2) クラブメンバー数の拡大対応

- ①新入部員の確保
- ②コーチ
- ③練習艇
- ④レスキュー体制
- ⑤運営支援者

(3) クラブ員の増加に伴う安全な艇置場の確保

- ①OP級の置場拡大
- ②OP級以外の艇置場確保

(4) レスキュー艇の老朽化

- ①レスキュー艇のメンテナンス
- ②買替えの費用捻出

(5) クラブ員の成長に伴うOP級から次クラスへの移行

- ①クラブ艇の確保
- ②置き場
- ③指導者
- ④レスキュー体制

8 2012年度クラブ役員

2012年4月1日に、FSSC総会が開催され、新年度の役員については以下のとおりとなった。

代表	貝道 和昭
名誉顧問	林 幹雄
事務局	正：伊藤、副：榊原
指導者	正：山下、副：宮本
会計	仲
レース委員	仲
ボートメンテ	須河内、山口
機材管理	榊原
世話役	河田
保護者代表	なし
相談役	国見、小林、渡辺

渉外

JODA、FYA、藤沢市	榊原
県連、KSR、JJYU、湘南港	伊藤
※県連窓口のみ副：仲	

実行委員長

山下杯	正：榊原、副：須河内
秋風、冬風	正：伊藤、副：河田

(敬称略)